令和3年度第3回別院中学校ブロック協議会　次第

（亀岡市学校規模適正化地域別推進協議会）

日時　令和4年3月25日（金）

午後7時30分～

場所　別院中学校　3階　多目的室

次　　第

1 開　会

2 第2回別院中学校ブロック協議会以降の経過報告

3 今後の取組について

4 閉　会

【令和４年３月２５日（金）　ブロック協議会資料】
令和３年９月２９日付け、東別院小中学校保護者から市長宛ての意見書に対する回答

●今一度、亀岡市として小規模校の統合が本当に子どもたち、地域の将来のためになるのかをご検討願いたい。
→学校では単に教科等の知識や技能を習得させるだけでなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けることが重要になります。
　少人数学級、小規模学校の教育活動が他と比較して劣っているという認識ではありませんが、児童生徒の持っている可能性をさらに引き出せるような環境、同年代の一定の集団が確保されている学習環境を公立の学校として同じように整える必要があると考えています。

●統合にあたり再度、通学距離、時間を子どもの乗降を兼ねてシュミレーションをして欲しい。
→運行するスクールバスについては、山間地域の運行を想定して、小型バス（１４人乗り）３台を準備します。ルート案については、事務局で試走後、改めて児童生徒、保護者の皆様にも試乗いただく機会を設けたいと考えています。

●東別院小学校に小規模の学習環境を希望して亀岡市に引っ越しされて通学されている保護者の方に対して、南桑中学校への統合による環境の変化に対してどの様にケアしていくのか。今後亀岡市は大規模では登校できず、小規模の環境でなら落ち着いて通学出来ている子どもに対して各学校、各学年に１０人前後の小規模学級を作る等も検討して貰えるのか。
→特認校制度を利用している、していないに関わらず、スクールカウンセラー配置による相談・見守り体制に加えて、教員の配置については、一定生徒が安心できるような人事配置を考えていきます。子どもの実態理解をした教員が、学校での学習・生活・心理面での様子をしっかりと把握し、変化があればすぐに対応できるようにしていきます。
小規模学級については、現在のところ検討していません。

●統廃合されるなら制服、学用品等統合に関わる費用を全て亀岡市で負担して欲しい。
→校章の入った学用品については、教育委員会で準備します。準備するのは、制服のワッペンとボタン、名札、生徒手帳、通学カバンとサブバックポロシャツ（長袖・半袖）、体操服、通学靴、体育館シューズ、上靴、ウインドブレーカー、公式用ユニホームです。それぞれ１部を準備します。対象生徒の保護者様には４月に文書でご案内いたします。

●中学校へ特認校でもバスを出してほしい。また公共交通機関を使えるようにして欲しい。
→指定校の変更の場合、保護者の負担、責任において送迎いただくことが原則となっており、指定校変更により通学している他の生徒との公平性も踏まえると、特認校出身生徒用に送迎バスを出すことはできません。ただし、令和３年度までに特認校制度を利用して入学した児童については、南桑中学校編入の決定前であったことも踏まえ、経過措置として別院地域

から運行するバスのルート上の乗降などの対応は可能です。ただし、バスの定員内の乗車であること、安全な乗降場所の確保等が前提となります。引き続き保護者のみなさんの協力を得ながら対応を考えてまいります。なお、公共交通機関の利用も可能です。

●現在の二択（東別院小学校の進学する中学及びお住いの地域の中学）以外にも個々の条件に応じた中学校への進学を十分に考慮してほしい。また特認校制度を利用された方は一旦出た学校の区域内にある中学校へは戻れない。子どもたちや保護者からもその思いは聞いている。南桑中学校へ特認校生徒も通えるようにバスを出してほしい。
→家庭事情等、やむを得ない場合については、従来から指定校の変更を認めてきたところです。個別に御相談ください。南桑中学校へのバスについては、前述のとおりです。

●別院地域は年に数回、雪が積もりスクールバスが来れない日があります。今は３０分早く家を出てバスが来れる場所まで歩いています。普段より早く家を出て雪道を歩いて下山します。統合された場合雪の日はどのように通学するのか。通常でも今より早く家を出る事になるのに、雪の日はいったい何時に家を出て学校に行く事になるのか。一度その地域を歩いて通学する子どもの立場になって考えて欲しい。
→運行するスクールバスについては、山間地域の運行を想定して、小型バス（１４人乗り）３台を準備します。ルート案については、事務局で試走後、改めて児童生徒、保護者の皆様にも試乗いただく機会を設けたいと考えています。

令和３年１０月１日付け、東別院小・中保護者から教育長宛ての要望書に対する回答

◎東別院小・中学校の児童及び保護者の大半は、別院地域での９年間を通しての義務教育を望んでいる。よって、東別院小中一貫校の設立を要望する。
→令和３年８月の臨時教育委員会及び令和３年９月議会において、別院中学校を閉校し、南桑中学校への学校区変更が決定されたため、東別院小中一貫校の設立はありません。

●今後、ブロック協議会や説明会等で出た意見、要望に対して誠実に向き合い、また、必ず書面及び口頭にて返答をすること。
→いただいた意見、要望に対してはしっかり対応し、文書でいただいた意見、要望に対しては文書で回答いたします。

＜バスについて＞
●編入にあたり、道路整備・携帯電話の圏外区域の改善を早急に対応して頂き、危険箇所・災害時の別ルート等、安全管理を書面に起こす。別院地域は陸の孤島となったことがこれまでも幾度かある。そういった環境であると認識すること。
→通学ルートを検討する上で、現地確認をしたところですが、要望など、教育委員会としてできることは保護者の方々と協力していきたいと考えています。
　携帯電話の圏外区域の改善については、教育委員会で現地確認した箇所を各電話事業者に改善要望等を行い、基地局のアンテナ調整をしていただきましたが、現状設備でこれ以上の改善はできないとの回答をいただいています。
　通学ルートでの緊急対応や災害時の対応については、連絡手段も含め、より良い安全対策を考えてまいります。

●通学時間、通学距離に対し、改めて児童生徒の乗降を兼ねてシュミレーションを実施。通学のバスは１台に限らず、通学時間は１時間以内とすること。（現中学生のみの対象ではなく、令和５年までに入学をする児童も含む）
→運行するスクールバスについては、山間地域の運行を想定して、小型バス（１４人乗り）３台を準備します。ルート案については、事務局で試走後、改めて児童生徒、保護者の皆様にも試乗いただく機会を設けたいと考えています。

●部活動に関して、夏休み・冬休み等の長期休暇期間にバスを定期的に運行すること。（これまで別院中学校では生徒が自転車で通っていたが、遠方になることから、不可能となり、保護者も仕事上、送迎が難しいと予測される為）朝練習や帰宅時の際、部活動の選択肢によって柔軟に対応すること。
→部活動の有無によって２段階のバス運行となります。夏休み等の長期休業期間中の部活動についても、バスでの送迎を実施します。朝練の対応については、参加者の状況により、保護者の負担がないような方法を検討してまいります。

●別院地域は年に数回雪が積もり、スクールバスが来られない地域がある。現状その地域の生徒はバスが来られる場所まで早く出て歩いている。地図上で把握するのではなく、しっかりと目で見て確認して生徒の立場になって対応すること。
→通学時間の負担を考慮し、小型バス３台を運行します。生徒の住所地の状況にもよりますが、生徒が負担なく徒歩で行ける送迎場所を考えています。現時点でのルート案をお示ししますので、今後、具体的な内容については、保護者の皆さん、学校とともに協議を進めて参ります。

●編入後、バス通学に関して問題点が生じた場合、都度しっかり把握し、早急な返答及び対応をすること。
→しっかり対応していきます。

●公共交通機関も使えるようにすること。
→別院地域からの通学についてはスクールバスで対応します。特認校制度利用児童が南桑中学校へ進学する場合は、公共交通機関の利用も可能です。

●東別院小学校へ特認校制度を利用し通学している児童は、現在、東別院小学校の児童が進学する中学校（南桑中学校）及びお住まいの地域の中学校を選択できるが、『一旦出た学校の区域にある中学校には戻れない』と児童及び保護者から悲痛な思いを聞いている。特認校児童も南桑中学校へ通えるように別院地域とは別にバスを出すこと。又、特認校児童生徒に対しバスが出ず、保護者の送迎が難しい為、現住所地の中学校に行かざるを得なくなった場合、その生徒に対しての配慮もすること。
→先述したとおり、指定校の変更の場合、保護者の負担、責任において送迎いただくことが原則となっており、指定校変更により通学している他の生徒との公平性も踏まえると、特認校出身生徒用に送迎バスを出すことはできません。ただし、令和３年度までに特認校制度を利用して入学した児童については、南桑中学校編入の決定前であったことも踏まえ、経過措置として別院地域から運行するバスのルート上の乗降などの対応は可能です。ただし、バスの定員内の乗車であること、安全な乗降場所の確保等が前提となります。引き続き保護者のみなさんの協力を得ながら対応を考えてまいります。なお、公共交通機関の利用も可能です。

＜制服・体操服・防寒具・その他の用品＞
●編入にあたり、制服（ジャージ等も含む）、学校用品の全額を教育委員会から支給すること。
→校章の入った学用品については、教育委員会で準備します。準備するのは、制服のワッペンとボタン、名札、生徒手帳、通学カバンとサブバックポロシャツ（長袖・半袖）、体操服、通学靴、体育館シューズ、上靴、ウインドブレーカー、公式用ユニホームです。それぞれ１部を準備します。対象生徒の保護者様には４月に文書でご案内いたします。

＜その他の意見＞

●編入までにリモート授業の充実化。感染症・災害時に別院地域の生徒は授業が受けられない事がないよう、自宅にてタブレットで授業が受けられるようにすること。

→オンライン授業ができる環境は構築されていますが、wi-fi 環境がない家庭についての対応を別院地域も含めて検討しているところです。

●児童生徒、保護者が窮屈な思いをせずスムーズに溶け込めるよう事前に説明会等をすること。

→今後、説明会の実施はもちろんのこと、児童生徒及び保護者の不安軽減に繋がるように学校間で交流等も計画しています。

●令和５年に南桑中学校へ編入する別院中学校の生徒及び、今後東別院小学校から進学する児童は、全員同じクラスにすること。いじめ等の問題が発生した際に、同じ小学校から来ている生徒が近くにいることで、早期発見につながる。

→令和５年の新入生について、南桑中学校へは、東別院小、西別院小、曽我部小、穝田野小、吉川小校区の児童と大井小校区の児童の約半分が進学をします。特に東別院、西別院、穝田野、吉川の４校は小規模校であり、配慮が必要であると考えています。現児童数の状況から、１学年で３ないし２学級の編成になることが考えられます。その際には、小規模校から進学した生徒が人間関係を築きやすいように、できるだけ小規模校の出身者を同じ学級にする等、配慮をしていきます。

令和５年の編入生について、別院中学校からの編入生徒はできるだけ同じ学級にする等、配慮をしていきます。

●編入にあたり、児童生徒の心のケアはスクールカウンセラーの配置とされているが、編入して直ぐには相談ができる余裕はないと思われる為、スクールカウンセラー以外にも様々な方面からのケアをすること。

→スクールカウンセラー配置による相談・見守り体制に加えて、教員の配置については生徒が安心できるような人事配置を考えていきます。子どもの実態理解をした教員が、学校での学習・生活・心理面での様子をしっかりと把握し、変化があればすぐに対応できるようにしていきます。

　また、生徒指導主任、学年主任、学級担任や副担任、養護教諭、加配教員、SC、SSW 等、多くのスタッフが全員で編入後の生徒を見守り、変化をいち早くキャッチし、初期対応できる組織体制を構築していきます。

●ＰＴＡに関して、初年度及び数年は本部役員等も配慮すること。

→別院中学校 PTA と南桑中学校 PTA とで協議の場を 3 月 4 日（金）に設定し、 両 PTA の状況について相互に確認を行いました。 当日の協議結果を一旦持ち帰って新年 度に改めて協議を行い準備をすすめていく方向となっています。

●編入先を南桑中学校のみではなく、個々の家庭の事情、条件に応じて他校への転入も考慮すること。
→家庭事情等、やむを得ない場合については、従来から指定校の変更を認めてきたところです。個別に御相談ください。

●毎年アンケートを行い、学校規模適正化で得られたメリット・デメリット・満足度・生徒及び保護者の意見・声を亀岡市ホームページ等に開示すること。
→学校規模適正化で学校区の見直しを行った地域の保護者等の意見や声を聞くことは大切であると考えているため、情報発信を含め方法については検討し、実施していきます。

●児童生徒に対しては、説明会や交流等、編入にあたり不安がないよう働きかけて頂き、編入後も心のケアをしっかり取り組んで頂きたい。
保護者は編入に関して不安があり、これまでも反対をしてきましたが、強行突破のようなやり方で推し進められ、教育委員会に対して不信感を感じています。この問題に対して真剣に向き合い、管轄外だから答えられない等、地域別推進協議会で発言されたような無責任な対応はしないで頂きたい。編入により起きた事柄、問題点は教育委員会がすべて責任を持つことを書面にて誓約して頂きたい。
→編入に向けて、また編入後についても児童生徒及び保護者の不安が少しでも軽減できるようしっかり取り組んでまいります。

◎この要望書に対してしっかりとご検討を頂き、書面にて返答をお願い致します。尚、今後検討する等の返答は認めません。
→令和３年９月２９日付け市長宛ての意見書に対する回答書及び本回答書については、令和３年１１月開催の保護者説明会時点での回答になります。予算措置を伴う事項等については、現時点では「検討する・考える」との回答にならざるを得ないところです。予算が確定したしかるべき時機をみて状況を御報告する機会を設けたいと考えています。

【令和４年３月２５日（金）　ブロック協議会資料】
令和３年１０月２５日付、西別院小・中保護者から教育長宛ての要望書に対する回答

＜バスについて＞
●登下校時のバスは、場所によってはスクールバスでは回れないバス停もあるので小型バス（ハイエース等）をお願いしたい。（大堂、大槻並方面）
→運行するスクールバスについては、山間地域の運行を想定して、小型バス（１４人乗り）３台を準備します。

●各クラブの練習時間、日程等異なってくる事に対し、保護者の送迎には限界があるのでその辺も含めて対応して欲しい。
→部活動の有無によって２段階のバス運行となります。夏休み等の長期休業期間中の部活動についても、バスでの送迎を実施します。朝練の対応については、参加者の状況により、保護者の負担がないような方法を検討してまいります。

●どの部活に入部しても、平日（部活終了時間は他の子と同じ）また、土曜日、日曜日、延長クラブ等の練習にもしっかり対応出来るようにして欲しい。
→部活動の有無によって２段階のバス運行となります。土・日の部活動や時間延長については、３台のスクールバスで送迎が対応できるよう、部活動の実施時間を学校で調整します。

●クラブ活動の延長等、校内活動に起因するスクールバス乗り遅れについては、バス臨時便等、学校側あるいは教育委員会負担により生徒を送り届けてほしい。
→まずは部活動や校内活動の延長等によるスクールバスの乗り遅れが生じないよう、活動時間については徹底してまいります。ただし、校内活動等に起因する乗り遅れが生じた場合には、できる限り他の生徒に影響がない範囲で柔軟に対応してまいります。

●特認校出身の生徒も、市役所と南桑中学校間の送迎バスを出して欲しい。（毎日の自家用車での送迎は負担が大きい。安町からの自転車通学は自動車通行量の多い国道横断等が必要となり、危険が伴う。）
→指定校の変更の場合、保護者の負担、責任において送迎いただくことが原則となっており、指定校変更により通学している他の生徒との公平性も踏まえると、特認校出身生徒用に送迎バスを出すことはできません。ただし、令和３年度までに特認校制度を利用して入学した児童については、南桑中学校編入の決定前であったことも踏まえ、経過措置として別院地域から運行するバスのルート上の乗降などの対応は可能です。ただし、バスの定員内の乗車であること、安全な乗降場所の確保等が前提となります。引き続き保護者のみなさんの協力を得ながら対応を考えてまいります。前提となります。なお、公共交通機関の利用も可能です。

●路線バスの回数券を出すなどの工夫をして欲しい。
→別院地域の生徒についてはスクールバスによる通学となります。令和３年度までに特認校制度を利用して入学した児童については、南桑中学校編入決定前であったことを踏まえて、安全、円滑な通学手段について、できる限り柔軟な対応を考えてまいります。ただし、

指定校変更による通学については原則、保護者の負担、責任において通学させることが前提となっており、現在、指定校変更で南桑中学校へ通学している他の生徒とのバランスも考慮した結果、通学費助成は難しいと考えています。ただし前述の経過措置としてのスクールバスの同乗などの対応は考えてまいります。

＜制服・体操服・防寒具・その他の用品＞

●各学年、他の生徒さんと同じ環境（色・デザイン）で生活できる様に、すべて用意して欲しい。もちろん各家庭の負担無しで。

→校章の入った学用品については、教育委員会で準備します。準備するのは、制服のワッペンとボタン、名札、生徒手帳、通学カバンとサブバックポロシャツ（長袖・半袖）、体操服、通学靴、体育館シューズ、上靴、ウインドブレーカー、公式用ユニホームです。それぞれ１部を準備します。対象生徒の保護者様には４月に文書でご案内いたします。

●令和５年度に新たに転入する現在小６の児童が購入する制服備品等は、令和４年度別院中学校１年生から南桑中学校のものを使用できるようにして欲しい。現在、別院中学校１年生が、中学３年生より南桑中学校へ転入となるので現在使用中の別院中指定の備品は、そのまま使用できるようにして欲しい。（これが可能であるなら現在６年生の児童が購入する中学校の備品は、別院中学校のものでもよい。尚且つ南桑中学校でも卒業するまで使用できるようにして欲しい。）上記がどちらも難しく南桑中学校転入時に、新たに揃えないといけないのであれば助成、補助を希望する。

→先に回答したとおり、校章の入った学用品については、教育委員会で準備します。準備するのは、制服のワッペンとボタン、名札、生徒手帳、通学カバンとサブバックポロシャツ（長袖・半袖）、体操服、通学靴、体育館シューズ、上靴、ウインドブレーカー、公式用ユニホームです。それぞれ１部を準備します。対象生徒の保護者様には４月に文書でご案内いたします。

●制服、体操服、鞄等は校章が違うため、使用できなくなる物については別院中学校在校生に限り公費で支給して欲しい。

→先に回答したとおり、校章の入った学用品については、教育委員会で準備します。準備するのは、制服のワッペンとボタン、名札、生徒手帳、通学カバンとサブバックポロシャツ（長袖・半袖）、体操服、通学靴、体育館シューズ、上靴、ウインドブレーカー、公式用ユニホームです。それぞれ１部を準備します。対象生徒の保護者様には４月に文書でご案内いたします。

●別院中学校で使用している枚数分を交換してほしい。（一律ではなく）スラックス、スカート（夏・冬）も

→先に回答したとおり、校章の入った学用品については、教育委員会で準備します。準備するのは、制服のワッペンとボタン、名札、生徒手帳、通学カバンとサブバックポロシャツ（長袖・半袖）、体操服、通学靴、体育館シューズ、上靴、ウインドブレーカー、公式用ユニホームです。それぞれ１部を準備します。対象生徒の保護者様には４月に文書でご案内いたします。

●ユニホーム等の補償も考慮してほしい。
→参加される部活動にもよりますが、公式戦に必要なユニフォーム（シャツ、パンツ、ゼッケン、ソックス、帽子）につきましては、１組準備します。

＜その他の意見＞
●南桑中学校区の小学校（曽我部小学校等）との事前交流を行ってほしい。
→保護者等の御意見も聞きながら、小学校の交流事業についても検討します。

●西別院小学校出身の生徒は、同じクラスにして欲しい（子どもの意見を尊重）
→令和５年の新入生について、南桑中学校へは、東別院小、西別院小、曽我部小、薭田野小、吉川小、大井小の学年約半分の児童から進学をします。特に東別院、西別院、薭田野、吉川の４校は小規模校であり、配慮が必要であると考えています。現児童数の状況から、１学年で３ないし２学級の編成になることが考えられます。その際には、小規模校から進学した生徒が人間関係を築きやすいように、できるだけ小規模校の出身者を同じ学級にする等、配慮をしていきます。
　令和５年の編入生について、別院中学校からの編入生徒はできるだけ同じ学級にする等、配慮をしていきます。

●大きな環境変化に伴う不調を回避するため、南桑中学校入学後もメンタル面等を継続ウォッチしてもらいサポートを続けてほしい。
→スクールカウンセラー配置による相談・見守り体制に加えて、教員の配置については生徒が安心できるような人事配置を考えていきます。子どもの実態理解をした教員が、学校での学習・生活・心理面での様子をしっかりと把握し、変化があればすぐに対応できるようにしていきます。
　また、生徒指導主任、学年主任、学級担任や副担任、養護教諭、加配教員、SC、SSW 等、多くのスタッフが全員で編入後の子ども達を見守り、変化をいち早くキャッチし、初期対応できる組織体制を構築していきます。

●少人数から大人数にいきなりなるので中学校合併初年度については、別院中学校新３年生２人、新２年生３人はそれぞれ同じクラスにしてほしい。（２クラス以上ある場合）
→令和５年の編入生について、別院中学校からの編入生徒は同じ学級にする等、できるだけ配慮をしていきます。

●これ以上早くバスの時間がなるのであれば、給食にして欲しい。
→学校給食の実施については、調査・研究の段階であり、すぐに実施できるものではありません。家庭での弁当づくりへの負担軽減策としては、デリバリー弁当を導入しており、そちらを御利用いただくようお願いします。

●別院中学校のテニスコートの許可を取って使用しているが、統合後も使用できるようにしてほしい。
→別院中学校の施設活用については、地域の方の御意見も聴きながら進めていきたいと考

えています。

●別院中学校から何名かの先生が同時に異動されるという話も聞いているが、それは実現してほしい。生徒のメンタル面でのサポートの場をもうけ定期的にでも行ってほしい。
→先述のとおり、教員の配置については生徒が安心できるような人事配置を考えていきます。また、スクールカウンセラー配置によるメンタル面でのサポート体制についても考えていきます。

●考えます。考慮します。と言ってもらっていたのに、いざ編入したら無理でした。というのはやめてほしい。
→予算を伴うものについては、議会の議決も必要であるため「考えます」等の表現になりますが、予算が確定したしかるべき時機をみて状況を御報告する機会を設けたいと考えています。

●家庭の状況などにより、子どもが犠牲になってしまう。保護者の負担が大きくなり支障が出てくるようなことはあってはならない。
→児童生徒が安心して学ぶことができるように、保護者負担の軽減に努めます。

●南桑中学校へ統合後も想定外の問題や課題について、事前要望の有無にかかわらず前向きに人道的な検討と対応をお願いします。
→編入に向けて、また編入後についても児童生徒及び保護者の不安が少しでも軽減できるようしっかり取り組んでまいります。

●大堂、大槻並の通学路の整備をお願いします。
→通学路の整備については、整備必要箇所と整備内容を教えていただければ、各道路管理者と連携して実施してまいります。ただし、私道については、市で整備できるものではありませんので、所有者で実施いただくことになります。一部補助制度もございます。

●部活交流（別院中学校と南桑中学校で合併後に希望するクラブ）をしてほしい
→学校間交流にあわせて、部活動の交流も両校で実施に向けて検討されています。

●見通しが不明なので今回の要望対応のほかにも翌年度にも新たな要望が生じると考えられるので、協議・補償の機会をもってほしい。
→編入に向けての協議の場は、幾度となく必要であると考えています。

●本回答書については、令和３年１１月開催の保護者説明会時点での回答になります。予算措置を伴う事項等については、現時点では「検討する・考える」との回答にならざるを得ないところです。予算が確定したしかるべき時機をみて状況を御報告する機会を設けたいと考えています。